

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 国語 科目： 国語A 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 3 学年 A 組～ D 組
 使用教科書：（ 『国語3』（光村図書） ）
 教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	A 現代文／「作られた『物語』を超えて」「複数の意見を読んで、考えよう」「それでも、言葉を」 【知識及び技能】 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論説などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組む。	「作られた『物語』を超えて」 ①筆者の主張と論の展開を理解する。 ②筆者の論理の展開を評価し、根拠を明確にしながら、考えたことを文章にまとめる。 「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」 ③観点を決めて二つの文章を比較し、共通点や相違点をまとめる。 ④筆者の考えに納得できたこと、できなかったことを手掛かりに、「これからの時代に大切なこと」を考え、グループで討論する。 【使用教材】教科書、国語便覧	○	○	○	【知識及び技能】 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論説などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	6
	B 漢文／漢文への扉「舟に刻みて剣を求む」「借虎威」 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組む。	①漢文を訓読するための基本的なきまりを復習し、理解する。 ②漢文の構造をつかむ。 【使用教材】グラimesteps古典1、明説漢文、端末、国語便覧			○	【知識及び技能】 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論説などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		○	○		1
	C 現代文／「古典日記」「自由とは何か」 【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論説の文章を読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組む。	①抽象的な概念を表す語句の文脈上での意味に注意しながら、筆者の考えを確認する。 ②筆者の考え方について話し合う。 ③話し合ったことを基に、社会や人間に対する筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、タブレットを用いて意見を共有する。 【使用教材】教科書、はじめての評論文、国語便覧、端末	○	○	○	【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論説の文章を読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	6

2 学 期	D 漢文／「推敲」「五十歩百歩」 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組む。	①句形について理解する。 ②唐詩のきまりについて理解する。 ③本文に描かれた当時の中国の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ④中国の歴史・文化について理解する。 【使用教材】『やわらか古文ひきだす漢文』、グランステップ古典1、明説漢文、国語便覧			○	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		○	○		1
	E 漢文／「唐詩」 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組む。	①句形について理解する。 ②唐詩のきまりについて理解する。 ③本文に描かれた当時の中国の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ④中国の歴史・文化について理解する。 【使用教材】グランステップ古典1、明説漢文、国語便覧			○	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	7
	F 現代文／「食べることの哲学」 「境界の現象学」 【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論説の文章を読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組む。	①本文の内容を構造的に理解する。 ②キーワードセンテンスに注目し、要旨をまとめる。 ③筆者の主張を整理し、それに対して自分の意見を持つ。 ④端末を利用して意見を共有する。 【使用教材】『現代文読本』、国語便覧、端末	○	○	○	【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論説の文章を読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	4
	G 漢文／「四面楚歌」 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組む。 *早期使用教科書『言語文化』使用	①句形について理解する。 ②本文に描かれた当時の中国の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ③中国の歴史・文化について理解する。 【使用教材】『やわらか古文ひきだす漢文』、グランステップ古典1、明説漢文、国語便覧			○	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		○	○		1
	H 現代文／「死産される日本語・日本人」 【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論説の文章を読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組む。	①本文の内容を構造的に理解する。 ②キーワードセンテンスに注目し、要旨をまとめる。 ③筆者の主張を整理し、それに対して自分の意見を持つ。 ④端末を利用して意見を共有する。 【使用教材】現代文読本、国語便覧、端末	○	○	○	【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論説の文章を読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	7

[illegible]

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 国語 科目： 国語B 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（『国語3』（光村図書））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	A 現代文／「握手」 【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	①作品の設定を捉える。 ②登場人物の人物像を読み取る。 ③登場人物の心情を読み取る。 ④端末を用いて考えたことを共有する。 【使用教材】教科書、端末、国語便覧	○	○	○	【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとしている。	○	○	○	6
	B 古文／「宇治拾遺物語」 【知識及び技能】 歴史的背景などに注意して古文を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組む。	①古文の特色を声に出して味わう。 ②用言の活用について理解する。 ③教材に描かれた当時の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 【使用教材】『やわらか古文ひきだす漢文』グランステップ古典1、完全マスター古典文法、国語便覧 端末			○	【知識及び技能】 歴史的背景などに注意して古文を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		○	○		1
	C 古文／「今昔物語集」 【知識及び技能】 歴史的背景などに注意して古文を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組む。	①古文の特色を声に出して味わう。 ②用言の活用について理解する。 ③教材に描かれた当時の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 【使用教材】『やわらか古文ひきだす漢文』グランステップ古典1、完全マスター古典文法、国語便覧 端末			○	【知識及び技能】 歴史的背景などに注意して古文を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	4

2 学	D 現代文／「俳句の可能性」「俳句」「挨拶」 【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・詩歌を読み、批評したり、考えたことを伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	「俳句の可能性」「俳句」 ①情景を想像しながら、朗読する。 ②本文を読み、俳句についてまとめる。 ③俳句を作り、鑑賞し合う。 「挨拶」 ①当時の時代背景について確認する。 ②表現の効果を評価する。 ③自分の意見をまとめ、端末を用いて共有する。 【使用教材】教科書、端末、国語便覧	○	○	○	【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・詩歌を読み、批評したり、考えたことを伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとしている。	○	○	○	4
	E 古文／「和歌の世界」「おくの細道」 【知識及び技能】 歴史的背景などに注意して古文を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組む。	①韻文の修辞を理解する。 ②俳句→俳諧→紀行文と時系列の中で韻文に関する理解を深める。 ③教材に描かれた当時の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 【使用教材】『やわらか古文ひきだす漢文』グランステップ古典1、完全マスター古典文法、国語便覧 端末	○	○	○	【知識及び技能】 歴史的背景などに注意して古文を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	5
	定期考査		○	○			○	○		1
	F 現代文／「故郷」 【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	①作品の設定を捉える。 ②場面や登場人物の設定に着目して読み取る。 ③作品を批評する。 ④端末を用いて考えたことを共有する。 【使用教材】教科書、端末、国語便覧	○	○	○	【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとしている。	○	○	○	8
2 学	G 古文／「徒然草」「方丈記」 「枕草子」 【知識及び技能】 歴史的背景などに注意して古文を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組む。	①随筆の特色をつかむ。 ②用言の活用について理解する。 ③基本の助動詞を理解する。 ④教材に描かれた当時の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 【使用教材】『やわらか古文ひきだす漢文』グランステップ古典1、完全マスター古典文法、国語便覧 端末	○			【知識及び技能】 歴史的背景などに注意して古文を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査		○	○			○	○		1

期	H 現代文／「夢十夜」 【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	①作品の設定を捉える。 ②場面や登場人物の設定に着目して読み取る。 ③作品を批評する。 ④端末を用いて考えたことを共有する。 【使用教材】現代文学名作選、端末、国語便覧	○	○	○	【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとしている。	○	○	○	8
	I 古文／「平家物語」 【知識及び技能】 歴史的背景などに注意して古文を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組む。	①軍記物語の特色をつかむ。 ②助動詞の活用について理解する。 ③教材に描かれた当時の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ④考えたことを文章にまとめ、端末を用いて共有する。 【使用教材】完全マスター古典文法、国語便覧、端末	○	○	○	【知識及び技能】 歴史的背景などに注意して古文を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	5
	定期考査		○	○			○	○		1
3 学 期	J 現代文／「セメント樽の中の手紙」「高瀬舟」 【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	①作品の設定を捉える。 ②場面や登場人物の設定に着目して読み取る。 ③作品を批評する。 ④端末を用いて考えたことを共有する。 ⑤互いの考えを生かしながら、討論をする。 【使用教材】現代文学名作選、教科書、端末、国語便覧	○	○	○	【知識及び技能】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとしている。	○	○	○	10
	K 古文／「土佐日記」「更級日記」 【知識及び技能】 歴史的背景などに注意して古文を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組む。	①日記文学の特色をつかむ。 ②助動詞の活用について理解する。 ③和歌の修辞について理解する。 ④教材に描かれた当時の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 【使用教材】完全マスター古典文法、国語便覧、端末	○	○	○	【知識及び技能】 歴史的背景などに注意して古文を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	9
	定期考査		○	○			○	○		1
										合計
										78

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 社会 科目： 歴史 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ ）

教科 社会 の目標：

【知識及び技能】社会的事象について、広い視野から捉え、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】社会的事象について多面的・多角的に考察し、それらを基に議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資

科目 歴史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と日本の相互的な視野から捉え、理解する。諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と日本の相互的な視野から捉え、理解する。諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 歴史と私たち 【知識及び技能】身近な題材を通して、日本や日本周辺地域が世界につながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わりを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】身近な題材に対して自ら「問い」を立て、歴史との関係を追求する。	・指導事項 歴史と私たち ・教材 教科書・副教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 資料の収集、調査	【知識及び技能】身近な題材を通して、日本や日本周辺地域が世界につながっていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わりを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】身近な題材に対して自ら「問い」を立て、歴史との関係を追求している。	○	○	○	7
				○	○	○	6
				○	○		1
	単元 近代化への問い 【知識及び技能】資料を通して交通の発達や貿易の拡大が近代化の重要な側面であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】諸資料から、交通の発達や貿易の拡大が近代化に与えた影響について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】交通の発達や貿易の拡大について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	・指導事項 近代化への問い ・教材 教科書・副教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 資料の収集、調査	【知識及び技能】資料を通して交通の発達や貿易の拡大が近代化の重要な側面であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】諸資料から、交通の発達や貿易の拡大が近代化に与えた影響について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】交通の発達や貿易の拡大について、見通しをもって学習に取り組んでいる。	○	○	○	7
	単元 ヨーロッパ経済の動向と産業革命 【知識及び技能】産業革命の背景・経過・影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】産業革命の影響について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】産業革命がもたらした変化を注視する。	・指導事項 ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ・教材 教科書・副教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 資料の収集、調査	【知識及び技能】産業革命の背景・経過・影響を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】産業革命の影響について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】産業革命がもたらした変化を注視しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2	単元 帝国主義と列強の展開 【知識及び技能】帝国主義について、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの経済・政治上の動向をまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】帝国主義の時代が、世界の一体化を進めたことについて、過程・結果、そしてその後の現代にいたる影響について追究する。	・指導事項 帝国主義と列強の展開 ・教材 教科書・副教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 資料の収集、調査	【知識及び技能】帝国主義について、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの経済・政治上の動向をまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】帝国主義の時代が、世界の一体化を進めたことについて、過程・結果、そしてその後の現代にいたる影響について追究している。	○	○	○	7
				○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

学 期	単元 第一次世界大戦とロシア革命 【知識及び技能】 第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、バルカン諸国の対立が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ロシア革命とソ連の成立の歴史的意義を追究しようとしている。	・指導事項 第一次世界大戦とロシア革命 ・教材 教科書・副教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 資料の収集、調査	【知識及び技能】 第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、バルカン諸国の対立が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ロシア革命とソ連の成立の歴史的意義を追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元 大衆消費社会と市民生活の変容 【知識及び技能】アメリカの情勢とアメリカ社会の在り方が、どのように大量消費社会に結びついていったのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】アメリカ社会の大衆化と、保守化による世界への影響を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】クー＝クラックス＝クランなど、今日にも残る保守系組織がこの時代に誕生したことを見出す。	・指導事項 大衆消費社会と市民生活の変容 ・教材 教科書・副教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 資料の収集、調査	【知識及び技能】アメリカの情勢とアメリカ社会の在り方が、どのように大量消費社会に結びついていったのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】アメリカ社会の大衆化と、保守化による世界への影響を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】クー＝クラックス＝クランなど、今日にも残る保守系組織がこの時代に誕生したことを見出そうとしている。	○	○	○	10
	単元 【知識及び技能】第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を基軸にして、多角的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】第二次世界大戦の結果、国際社会はどのように変化していくことになるか追究する。	・指導事項 第二次世界大戦と太平洋戦争 ・教材 教科書・副教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 資料の収集、調査	【知識及び技能】第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を基軸にして、多角的に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】第二次世界大戦の結果、国際社会はどのように変化していくことになるか追究している。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	
合計							
78							

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 社会 科目： 公民 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 中学社会公民ともに生きる（教育） ）

教科 社会 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる 平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の 基礎を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 現代社会の諸課題の解決に向けて考察、構想したりする際の視点として概念や理論などについて知識を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の諸課題の解決に向けた選択・判断に必要な概念や理論などと関連付けて考える力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 自分自身に関することや他者、社会との関わりに関して主体的に学ぶ。

科目 公民 の目標： 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる 平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の 基礎を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の諸課題の解決に向けて考察、構想したりする際の視点として概念や理論などについて知識を身につける。	現代社会の諸課題の解決に向けた選択・判断に必要な概念や理論などと関連付けて考える力を身につける。	自分自身に関することや他者、社会との関わりに関して主体的に学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	私たちの暮らしと現代社会 【知識及び技能】 伝統や文化について、具体的なお祭りや芸能などの事例を用いて知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 伝統や文化について、複数比較し特徴を捉える力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の人生経験と伝統や文化との関わりについて考える。	・指導事項 伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れる ・教材 教科書、資料集、早期使用教科書 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 伝統や文化について理解している 【思考・判断・表現】 伝統や文化について、特徴を比べたり、調べて発表したりできる 【主体的に学習に取り組む態度】 自身と伝統や文化との関わりを主体的に学ぶ	○	○	○	10
	日本国憲法の基本問題 【知識及び技能】 憲法の原則である基本的人権についての知識や国権について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に学ぶ。	・指導事項 基本的人権の尊重（自由権、社会権、新しい人権を理解する） 自由・権利と責任・義務（公共的な空間の基本原則について理解する） 統治機構（国会、内閣、裁判所の具体的役割を理解する） 民主政治と政治参加（選挙、政党、世論） ・教材 教科書、資料集、早期使用教科書 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 憲法について理解している 【思考・判断・表現】 憲法や国家組織について、特徴を比べたり、調べて発表したりできる 【主体的に学習に取り組む態度】 憲法や国家組織との関わりを主体的に学ぶ	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	民主政治と政治参加 【知識及び技能】 幸福、公正、正義などの見方考え方をみにつける。 【思考力、判断力、表現力等】 対立と合意、効率と公正をもとに構成する。 【学びに向かう力、人間性等】 思考実験に主体的に取り組む。	・指導事項 価値の対立にともなう協働的解決にむけた活動学習（行為の結果・行為の動機に着目した考え方を理解する。思考実験） ・教材 教科書、資料集、早期使用教科書 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 価値の対立や、その構図について理解している 【思考・判断・表現】 幸福、公正、正義の見方考え方をもちいて表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会に起こり得る価値の対立について主体的に取り組み提言できる。	○	○	○	10
	私たちの暮らしと民主政治 【知識及び技能】 地方自治の仕組みについて学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 地方自治の抱える課題について判断、表現させる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の生活と地方自治との繋がりについて考える	・指導事項 地方自治（地域社会の政治に関心を持たせる） 価値の対立にともなう協働的解決にむけた活動学習（行為の結果・行為の動機に着目した考え方を理解する。思考実験） ・教材 教科書、資料集、早期使用教科書 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 地方自治について理解している 【思考・判断・表現】 地方自治について、特徴を比べたり、調べて発表したりできる 【主体的に学習に取り組む態度】 自身と地方政治との関わりを主体的に学ぶことができる	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

2 学 期	私たちの暮らしと経済 【知識及び技能】 経済の三主体について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 経済の三主体の関係性についてグループで表現する 【学びに向かう力、人間性等】 経済の三主体と自身との関連について学ぶ	・指導事項 経済とは何か（そもそも経済とはなにかを考える） 消費と経済（家計の役割を知り身近な消費生活を振り返る） 消費者の権利と保護 生産と企業（経済主体としての企業の役割を知る） 経済の中の株式会社 ・教材 教科書、資料集、早期使用教科書 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 経済の三主体について理解している 【思考・判断・表現】 経済の三主体について、特徴を比べたり、調べて発表したりできる 【主体的に学習に取り組む態度】 経済の三主体と自身との関わりを主体的に学ぶことができる	○	○	○	11
	市場のしくみとはたらき 【知識及び技能】 市場の仕組みについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 市場の仕組みについて考察し、実際の経済との関連を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 市場の仕組みと自身との関連について学ぶ	・指導事項 市場経済の仕組み（需要と供給から経済を見る） 市場の限界と政府の役割（市場の失敗の補正の仕方を理解する） ・教材 教科書、資料集、早期使用教科書 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 市場の仕組みについて理解している 【思考・判断・表現】 経済の三主体について、特徴を比べたり、調べて発表したりできる 【主体的に学習に取り組む態度】 経済の三主体と自身との関わりを主体的に学ぶことができる	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 財政と金融について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 財政と金融について考察し、実際の経済との関連を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 財政と金融と自身との関連について学ぶ	・指導事項 景気変動と物価（景気と私たちの生活の関係を理解する） 財政政策と税金（政府の経済的役割とその財源の構造と現状を理解する） 金融と金融政策（金融の意義と中央銀行の政策を理解する） ・教材 教科書、資料集、早期使用教科書 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 財政と金融について理解している 【思考・判断・表現】 財政と金融について、調べて発表したりできる 【主体的に学習に取り組む態度】 財政と金融と自身との関わりを主体的に学ぶことができる	○	○	○	11
	安心して豊かに暮らせる社会 【知識及び技能】 福祉や労働環境について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 福祉や労働環境について考察し、実際の経済との関連を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 福祉や労働環境と自身との関連について学ぶ	・指導事項 私たちの生活と福祉（少子高齢化時代の福祉のあり方を考える） 働くことの意義と役割（労働問題と労働市場と私たちの関係を考える） ・教材 教科書、資料集、早期使用教科書 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 福祉や労働環境について理解している 【思考・判断・表現】 福祉や労働環境について、特徴を調べて発表したりできる 【主体的に学習に取り組む態度】 福祉や労働環境と自身との関わりを主体的に学ぶことができる	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	私たちと国際社会の課題 【知識及び技能】 国連や国際経済について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 国連や国際経済について考察し、実際の経済との関連や国連の活動を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 国連や国際経済と自身との関連について学ぶ	・指導事項 国際政治の動向（国連を中心に国際社会のしくみを理解する） 国際経済の動向（貿易、為替、国際収支のしくみを理解する） ・教材 教科書、資料集、早期使用教科書 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 国連や国際経済について理解している 【思考・判断・表現】 国連や国際経済について、調べて発表したりできる 【主体的に学習に取り組む態度】 国連や国際経済と自身との関わり、社会との関わりを主体的に学ぶことができる	○	○	○	15
	人間の安全保障 人間の尊厳と平等 私たちと日本社会、国際社会の課題 【知識及び技能】 国際分野における現代社会の諸課題について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 国際分野における現代社会の諸課題について考察しする 【学びに向かう力、人間性等】 国際分野における現代社会の諸課題と自身との関連について学ぶ	・指導事項 人間の安全保障について理解する 人間の尊厳と平等について理解する 地球環境問題、国際平和、南北の経済格差、憲法改正問題などを調べる。 テーマについてディベートを行う ・教材 教科書、資料集、早期使用教科書 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 国際分野における現代社会の諸課題について理解している 【思考・判断・表現】 国際分野における現代社会の諸課題について、特徴を比べたり、調べて発表したりできる 【主体的に学習に取り組む態度】 国際分野における現代社会の諸課題について、自身や社会で何ができるのかを主体的に学ぶことができる	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計 117

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 数学 科目： 代数3 単位数： 3 単位
 対象学年組：第 3 学年 A 組～ D 組
 使用教科書：（ 中学校数学3 [学校図書] ）
 教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

科目 代数3 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、数と式、2次関数、式と証明及び複素数と方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【知識及び技能】 ・組合せの用語、記号、公式を理解し、それを利用できる。また、具体的な問題に対して、組合せの考えを用いて式に表すことができるようになる。 ・同じものを含む順列の総数を求めることができるようになる。 ・確率の定義を理解し、確率の求め方がわかるようになる。 ・独立な試行の定義を理解し、その確率の求め方がわかるようになる。 ・反復試行の意味を理解し、その確率の求め方がわかるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・特殊な条件が付く組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができるようになる。 ・2つ以上の独立な試行を行うとき、その結果として起こる事象の確率について考察することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだものを利用し、より発展的なことに興味・関心を抱くようになる。	・指導事項 組合せ、組分け、重複組合せ、同じものを含む順列、試行、和事象・積事象・余事象の確率、独立、反復試行 ・教材 数学A[数研出版]	【知識・技能】 ・組合せの用語、記号、公式を理解し、それを利用できる。また、具体的な問題に対して、組合せの考えを用いて式に表すことができる。 ・同じものを含む順列の総数を求めることができる。 ・確率の定義を理解し、確率の求め方がわかる。 ・独立な試行の定義を理解し、その確率の求め方がわかる。 ・反復試行の意味を理解し、その確率の求め方がわかる。 【思考・判断・表現】 ・特殊な条件が付く組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ・2つ以上の独立な試行を行うとき、その結果として起こる事象の確率について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・組合せの考え方を利用して図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。 ・具体的事象について、反復試行の確率を、興味をもって調べようとする。	○	○	○	17
中間考査			○	○	○	1

1 学 期	【知識及び技能】 - 条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができるようになる。 - 期待値の定義を理解し、確率の性質などに基づいて期待値を求めることができるようになる。 - 不等式の解の意味を理解し、1次不等式を解くことができるようになる。 - 連立不等式、絶対値の意味から絶対値を含む方程式や不等式を解くことができるようになる。 $y=ax^2$, $y=ax^2+q$, $y=a(x-p)^2$, $y=a(x-p)^2+q$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解する。 - 平方完成を利用して、2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 原因の確率について、条件付き確率を利用して求める方法を考察することができるようになる。 - 身近な問題について、必要な条件を判断して1次不等式の問題に帰着させ、問題を解決することができるようになる。 2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができるようになる。 - 放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだものを利用し、より発展的なことに興味・関心を抱くようになる。	・指導事項 条件付確率、原因の確率、期待値 ・教材 数学 I [数研出版]、数学 A [数研出版]	【知識・技能】 - 条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 - 期待値の定義を理解し、確率の性質などに基づいて期待値を求めることができる。 - 不等式の解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 - 連立不等式、絶対値の意味から絶対値を含む方程式や不等式を解くことができる。 $y=f(x)$ や $f(a)$ の表記を理解しており、用いることができる。 $y=ax^2$, $y=ax^2+q$, $y=a(x-p)^2$, $y=a(x-p)^2+q$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 - 平方完成を利用して、2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 - 原因の確率について、条件付き確率を利用して求める方法を考察することができる。 - 身近な問題について、必要な条件を判断して1次不等式の問題に帰着させ、問題を解決することができる。 2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 - 放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 条件付き確率を利用して原因の確率が考えられることに興味をもち、考察しようとする。 - 身近な事柄において、条件付き確率の考え方を活用して考察しようとする。 - 絶対値記号を含むやや複雑な方程式や不等式を解くことに取り組む意欲がある。 - 一般の2次関数 $y=ax^2+bx+c$ について、頂点、軸の式を考察しようとする。 - 放物線の平行移動や対称移動の一般公式を考察しようとする。	○	○	○	17
	期末考査			○	○	○	1
2	【知識及び技能】 2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値を求めることができるようになる。 2次関数の決定において、与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができるようになる。 2次関数のグラフとx軸の共有点の座標が求められるようになる。 2次不等式を利用する応用問題を解くことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができるようになる。 - 具体的な事象の最大・最小の問題を、2次関数を用いて表現し、処理することができるようになる。 2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を判断することができるようになる。 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、$D=b^2-4ac$ の符号から考察することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだものを利用し、より発展的なことに興味・関心を抱くようになる。	・指導事項 定義域、値域、判別式 ・教材 数学 I [数研出版]	【知識・技能】 2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値を求めることができる。 2次関数の決定において、与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。 2次関数のグラフとx軸の共有点の座標が求められる。 2次不等式を利用する応用問題を解くことができる。 【思考・判断・表現】 - 定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができる。 - 具体的な事象の最大・最小の問題を、2次関数を用いて表現し、処理することができる。 2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を判断することができる。 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、$D=b^2-4ac$ の符号から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。 2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その意味を探ろうとする。	○	○	○	26

学 期	中間考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】 ・二項定理の導き方を理解し、二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができるようになる。 ・多項式の割り算の計算方法を理解しているようになる。 ・分数式の約分、四則計算ができるようになる。 ・恒等式の性質を理解し、恒等式となるように係数を決定することができるようになる。 ・$A=B$ と $A-B=0$ が同値であることを利用して、等式を証明することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・二項定理を等式の証明に活用することができるようになる。 ・2種類以上の文字を含む多項式の割り算を、1つの文字に着目することで、1文字の場合と同様に考えることができるようになる。 ・与えられた条件式の利用方法を考察することができ、適した方法を用いることによって等式を証明することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだものを利用し、より発展的なことに興味・関心を抱くようになる。	・指導事項 二項定理、二項係数、恒等式、多項定理 ・教材 数学Ⅱ[数研出版]	【知識・技能】 ・二項定理の導き方を理解し、二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。 ・多項式の割り算の計算方法を理解している。 ・分数式の約分、四則計算ができる。 ・恒等式の性質を理解し、恒等式となるように係数を決定することができる。 ・$A=B$ と $A-B=0$ が同値であることを利用して、等式を証明することができる。 【思考・判断・表現】 ・二項定理を等式の証明に活用することができる。 ・2種類以上の文字を含む多項式の割り算を、1つの文字に着目することで、1文字の場合と同様に考えることができる。 ・与えられた条件式の利用方法を考察することができ、適した方法を用いることによって等式を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・$(a+b+c)^n$を展開したときの $a^p b^q c^r$ の係数がどうなるかを、興味・関心をもって調べようとする。	○	○	○	20
	期末考査			○	○	○	1
3 学 期	【知識及び技能】 ・実数の大小関係や実数の平方の性質を利用して、不等式や$a>b$, $c>d \Rightarrow a+c>b+d$などを証明することができるようになる。 ・相加平均・相乗平均の大小関係を利用して、不等式を証明することができるようになる。 ・複素数の表記を理解し、複素数、複素数の相等の定義を理解している。 ・解と係数の関係を使って、対称式の値や2次方程式の係数を求めることができるようになる。 ・対称式を基本対称式で表して、式の値を求めることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・不等式$A > B$を証明するには$A-B > 0$を示せばよいと考察することができる。そのことを用いて不等式を証明することができるようになる。 ・不等式$A > B$を証明するには$A-B > 0$を示せばよいと考察すること	・指導事項 相加平均相乗平均の関係、複素数、解と係数の関係 ・教材 数学Ⅱ[数研出版]	【知識及び技能】 ・実数の大小関係や実数の平方の性質を利用して、不等式や$a>b$, $c>d \Rightarrow a+c>b+d$などを証明することができる。 ・相加平均・相乗平均の大小関係を利用して、不等式を証明することができる。 ・複素数の表記を理解し、複素数、複素数の相等の定義を理解している。 ・解と係数の関係を使って、対称式の値や2次方程式の係数を求めることができる。 ・対称式を基本対称式で表して、式の値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・不等式$A > B$を証明するには$A-B > 0$を示せばよいと考察することができ、そのことを用いて不等式を証明することができる。 ・不等式$A > B$を証明するには$A-B > 0$を示せばよいと考察することができる。 ・不等式の証明に実数の平方の性質を利用できるように、式変形を考察することができるようになる。 ・やや複雑な2数を解とする2次方程式がどのようなものであるか、解と係数の関係を利用して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・相加平均・相乗平均の大小関係の有用性に、興味・関心をもつ。 ・2次方程式の解に関する種々の問題を、解と係数の関係を利用して考察しようとする。	○	○	○	32
	学年末考査			○	○	○	1
							合計
							117

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教 科： 数学 科 目： 幾何 3 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 3 学年 A 組～ D 組
 使用教科書： (中学校数学 3 [学校図書])
 教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

科目 幾何 3 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量及び図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
【知識及び技能】 ・直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できるようにする。 ・三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められるようになる。 ・座標を用いた三角比の定義を理解し、鈍角の三角比を求めることができるようになる。 ・$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ において、三角比の値から θ を求めることができるようになる。 ・また、1つの三角比の値から残りの値を求めることができるようになる。 ・正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや外接円の半径が求められるようになる。 ・余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさが求められるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体的な事象を三角比の問題として捉えることができるようになる。 ・三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができるようになる。 ・直線とx軸とのなす角を、三角比を用いて考察することができるようになる。 ・三角形の辺の長さや角の大きさと余弦定理との関係を考察することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだものを利用し、より発展的なことに興味・関心を抱くようになる。	・指導事項 正弦、余弦、正接、三角比の相互関係、一般角、正弦定理、余弦定理 ・教材 数学 I [数研出版]	【知識・技能】 ・直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できる。 ・三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 ・座標を用いた三角比の定義を理解し、鈍角の三角比を求めることができる。 ・$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ において、三角比の値から θ を求めることができる。また、1つの三角比の値から残りの値を求めることができる。 ・正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや外接円の半径が求められる。 ・余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさが求められる。 【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を三角比の問題として捉えることができる。 ・三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 ・直線とx軸とのなす角を、三角比を用いて考察することができる。 ・三角形の辺の長さや角の大きさと余弦定理との関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。 ・三角形の外接円、円周角と中心角の関係などから、正弦定理を、三平方の定理をもとに余弦定理を導こうとする。 ・正弦定理や余弦定理が図形の計量に活用できることに着目し、これらを用いて三角形について解こうとする。	○	○	○	11
中間調査			○	○	○	1

1 学 期	【知識及び技能】 ・三角比を用いた三角形の面積を求める公式を理解する。 ・3辺が与えられた三角形の内接円の半径を求めることができるようになる。 ・三角比を測量に応用できるようになる。 ・命題の真偽、反例の意味を理解し、集合の包含関係や反例を調べることで、命題の真偽を決定することができるようになる。 ・必要条件、十分条件、必要十分条件、同値の定義を理解する。 ・対偶による証明法や背理法のしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三角形の面積を2つの三角形の面積の和として表現し、線分を求める問題に活用することができるようになる。 ・円に内接する四角形の面積を求める方法を考察することができるようになる。 ・空間図形への応用において、適当な三角形に着目して考察することができるようになる。 ・命題が偽であることを示すには、反例を1つあげればよいことが理解する。 ・命題の条件や結論に着目し、命題に応じて対偶の利用や背理法の利用を適切に判断することで、命題を証明することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだものを利用し、より発展的なことに興味・関心を抱くようになる。	・指導事項 ヘロンの公式、内接球、外接球 ・教材 数学 I [数研出版]	【知識・技能】 ・三角比を用いた三角形の面積を求める公式を理解している。 ・3辺が与えられた三角形の内接円の半径を求めることができる。 ・三角比を測量に応用できる。 ・命題の真偽、反例の意味を理解し、集合の包含関係や反例を調べることで、命題の真偽を決定することができる。 ・必要条件、十分条件、必要十分条件、同値の定義を理解している。 ・対偶による証明法や背理法のしくみを理解している。 【思考・判断・表現】 ・三角形の面積を2つの三角形の面積の和として表現し、線分を求める問題に活用することができる。 ・円に内接する四角形の面積を求める方法を考察することができる。 ・空間図形への応用において、適当な三角形に着目して考察することができる。 ・命題が偽であることを示すには、反例を1つあげればよいことが理解できている。 ・命題の条件や結論に着目し、命題に応じて対偶の利用や背理法の利用を適切に判断することで、命題を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角形の内接円と面積の関係を導こうとする。 ・日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。 ・直接証明法では難しい命題も、対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心をもち、実際に証明しようとする。	○	○	○	11
	期末考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】 ・いろいろな数の倍数の判定法を理解しており、それらを用いて与えられた数について調べることができるようになる。 ・自然数の素因数分解を求めることができるようになる。 ・互いに素の意味を理解している。 ・整数 a を正の整数 b で割る割り算を、a と b の間に成り立つ等式として捉えることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・決められた手順で複数枚のカードを操作する事象などを数学的に捉え、約数の個数の考えを用いて仕組みを考察することができるようになる。 ・2数の最大公約数、最小公倍数を利用して問題を考察することができるようになる。 ・問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考察を深めることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだものを利用し、より発展的なことに興味・関心を抱くようになる。	・指導事項 倍数判定法、素因数分解、互いに素、 ・教材 数学A[数研出版]	【知識・技能】 ・いろいろな数の倍数の判定法を理解しており、それらを用いて与えられた数について調べることができる。 ・自然数の素因数分解を求めることができる。 ・互いに素の意味を理解している。 ・整数 a を正の整数 b で割る割り算を、a と b の間に成り立つ等式として捉えることができる。 【思考・判断・表現】 ・決められた手順で複数枚のカードを操作する事象などを数学的に捉え、約数の個数の考えを用いて仕組みを考察することができる。 ・2数の最大公約数、最小公倍数を利用して問題を考察することができる。 ・問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常生活における具体的な事象の考察に、約数と倍数の考えを活用しようとする。 ・数学史の話題を通じて、割り算の方法や割り算の余りの性質に興味・関心をもつ。	○	○	○	17
	中間考査			○	○	○	1

2 学 期	【知識及び技能】 ・互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができるようになる。 ・$ax+by=c$を満たす整数 x , y の組を1つ求めることができる。 ・1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができるようになる。 ・n 進法の整数を10進法で、10進法の整数をn 進法で表すことができる。 ・平面上の点における考え方を座標空間の点まで広げて考えることができるようになる。 ・ゲームの設定を多面的かつ論理的に考え、ゲームで勝つ方法を導くことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・互除法の計算から最大公約数を表す式が導かれることを具体例から一般論に拡張し、考察することができるようになる。 ・整数に関する問題を、1次不定方程式に帰着させて考察することができる。 ・ゲームの設定やパズルの仕組みを論理的に考察することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだものを利用し、より発展的なことに興味・関心を抱くようになる。	・指導事項 ユークリッドの互除法、不定方程式、ゲーム理論 ・教材 数学A[数研出版]	【知識・技能】 ・互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 ・$ax+by=c$を満たす整数 x , y の組を1つ求めることができる。 ・1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができる。 ・n 進法の整数を10進法で、10進法の整数をn 進法で表すことができる。 ・平面上の点における考え方を座標空間の点まで広げて考えることができる。 ・ゲームの設定を多面的かつ論理的に考え、ゲームで勝つ方法を導くことができる。 【思考・判断・表現】 ・互除法の計算から最大公約数を表す式が導かれることを具体例から一般論に拡張し、考察することができる。 ・整数に関する問題を、1次不定方程式に帰着させて考察することができる。 ・ゲームの設定やパズルの仕組みを論理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・互除法や割り算の等式を利用して、$ax+by=c$を満たす整数 x , y の組を求める方法に興味をもち、積極的に活用しようとする。 ・コンピュータなどの身近な物に、n 進法の考え方が活用されていることに興味・関心をもつ。 ・座標平面上の2点間の距離や、座標空間における2点間の距離や位置関係について、理解を深めようとする。 ・ゲームで勝つ方法やパズルの仕組みなどを、論理的に考察しようとする。	○	○	○	13
	期末考查			○	○	○	1
3 学 期	【知識及び技能】 ・1、2年生で習ったことを復習し、理解を深めようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・3年生で習った内容を利用して、様々な事象に対して、論理的に考察することができるようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだものを利用し、より発展的なことに興味・関心を抱くようになる。	・指導事項 内分、外分、三角形の五心、チェバの定理、メネラウスの定理、三角形の存在条件、円周角の定理、円に内接する四角形、円の接線、接弦定理、方べきの定理、正多面体 ・教材 数学A[数研出版]	【知識・技能】 ・1、2年生で習ったことを復習し、理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ・3年生で習った内容を利用して、様々な事象に対して、論理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・今まで習った定理等を証明することが自らできる。	○	○	○	21
	学年末考查			○	○	○	1
							合計 78

年間授業計画

中等教育学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 Adv. 物理3			
教 科： 理科	科 目： Adv. 物理3	単位数： 1	単位
対象学年組：第 3 学年 A 組～ D 組			
教科担当者：（A組：横山 ） （B組：横山 ） （C組：横山 ） （D組：横山 ）			
使用教科書：（ 未来へ広がるサイエンス3（啓林館）、物理基礎（実教出版） ）			
教科 理科	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
【知 識 及 び 技 能】	科学を学ぶ楽しさや有用性を実感しながら自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	数多くの観察、実験などを行い、探究の過程を通して科学的に探究する力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度及び、科学的な根拠に基づいて多面的に判断しようとする態度を養う。		
科目 Adv. 物理3	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 運動の表し方 【知識及び技能】 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら物体の運動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物理量の測定と扱い方を身に付けながら、運動の表し方、運動の速さと向き、直線運動の加速度、物体の落下運動の規則性を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探究しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。	・指導事項 物理量の測定と扱い方 運動の表し方 運動の速さと向き 直線運動の加速度 物体の落下運動 *後期課程「物理基礎」の内容を移行 ・主な実験 ノギスの扱い 記録タイマーの扱い 物体の速さ・加速度の測定 ・教材 未来へ広がるサイエンス3 物理基礎（実教出版）	【知識・技能】 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、物体の運動について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物理量の測定と扱い方を身に付けながら、運動の表し方、運動の速さと向き、直線運動の加速度、物体の落下運動の規則性を見だして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	B 様々な力とその働き 【知識及び技能】 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら物体にはたらく力について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、様々な力、水中の物体にはたらく力の大きさ測定、力の合成・分解の規則性を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探究しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。	指導事項 様々な力 水中の物体にはたらく力 力のつり合い 力の合成・分解の規則性 *後期課程「物理基礎」の内容を移行 ・主な実験 力の合成・分解 力のつり合い 水中の物体にはたらく力の大きさ測定 ・教材 未来へ広がるサイエンス3 物理基礎（実教出版）	【知識・技能】 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、物体にはたらく力について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、様々な力、水中の物体にはたらく力、力のつり合い、力の合成・分解の規則性を見だして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	C 運動の規則性 【知識及び技能】 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら物体の運動と力について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、力と運動の規則性、運動の法則を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探究しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。	・指導事項 力と運動 運動の法則 *後期課程「物理基礎」の内容を移行 ・主な実験 物体の質量、受ける力と加速度の測定 ・教材 未来へ広がるサイエンス3 物理基礎（実教出版）	【知識・技能】 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、物体の運動と力について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、力と運動の規則性、運動の法則を見だして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教 科：理科

科 目：Adv. 化学 3

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～D 組

使用教科書：未来へひろがるサイエンス（啓林館）

理科の目標：自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知 識 及 び 技 能】科学を学ぶ楽しさや有用性を実感しながら自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数多くの観察、実験などを行い、探究の過程を通して科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度及び、科学的な根拠に基づいて多面的に判断しようとする態度を養う。

Adv. 化学 3 の目標：物質とその変化に関わり、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物質に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、物質の構成、物質の変化とその利用について理解するとともに、科学技術の発展と人間生活の関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	物質に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。	物質に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 物質の構成粒子 【知識及び技能】 原子の構造、電子配置と周期表について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成粒子について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見い出して表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の構成粒子に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 原子の構造* 電子配置と周期表* * 後期課程「化学基礎」の内容を、移行。 ・主な観察、実験、ワークショップ 原子の探究 同族元素の性質 新元素発見の歴史 など ・教材 新しい科学 3 化学基礎 academia	【知識・技能】 物質の構成について、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考・判断・表現】 物質の構成粒子について、規則性や関係性を見い出して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の構成粒子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	B 物質と化学結合 【知識及び技能】 原子の成り立ちとイオン、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 物質と化学結合について、観察、実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 物質と化学結合に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 原子の成り立ちとイオン イオンとイオン結合* 分子と共有結合* 金属と金属結合* * 後期課程「化学基礎」の内容を、移行。 ・主な観察、実験、ワークショップ イオン結晶の性質 金属結晶の性質 化学結合と様々な結晶 など ・教材 新しい科学 3 化学基礎 academia	【知識・技能】 物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質と化学結合について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質と化学結合に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 物質と化学反応式 【知識及び技能】 物質と化学反応式について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 物質と化学反応式について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 物質と化学反応式に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 物質量* 化学反応式* * 後期課程「化学基礎」の内容を、移行。 ・主な観察、実験、ワークショップ 気体の分子量測定 化学変化の量的関係 ○○mL の気体を発生させる など ・教材 新しい科学 3 化学基礎 academia	【知識・技能】 物質と化学反応式について、物質量、化学反応式の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質と化学反応式について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質と化学反応式に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	D 水溶液とイオン 【知識及び技能】 酸・アルカリ、中和と塩について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 水溶液とイオンについて、観察、実験などを通して探究し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 水溶液とイオンに進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 酸・アルカリ 中和と塩 ・主な観察、実験、ワークショップ 電解質水溶液の性質 酸やアルカリの性質とイオン 身近な溶液の pH 測定 中和反応 中和によって生じる物質 など ・教材 新しい科学 3 化学基礎 academia	【知識・技能】 化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、酸・アルカリ、中和と塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 水溶液とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査						1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学 期	E 化学反応（酸・塩基と中和） 【知識及び技能】 酸と塩基の性質、中和に関与する物質の量的関係について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 酸・塩基と中和について、観察、実験などを通して探究し、酸・塩基の変化における規則性や関係性を見いだして表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 酸・塩基と中和に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 酸・塩基と中和* * 後期課程「化学基礎」の内容を、移行。 ・主な観察、実験、ワークショップ 中和と pH 変化 中和滴定 塩の水溶液の性質 など ・教材 新しい科学 3 化学基礎 academia	【知識・技能】 化学反応について、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 化学反応について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。0	○	○	○	11
	F 科学技術と人間 【知識及び技能】 エネルギーと物質、自然環境の保全と科学技術の利用について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 様々なエネルギーとその変換について、観察、実験などを通して探究し、持続可能な社会をつくるために必要な自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 エネルギーと物質に関する事 物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 エネルギーとエネルギー資源 様々な物質とその利用 科学技術の発展 自然環境の保全と科学技術の利用 ・主な観察、実験、ワークショップ エネルギーの変換 身のまわりの物質しらべ テーマ別研究 など ・教材 新しい科学 3 化学基礎 academia	【知識・技能】 日常生活や社会と関連付けながら、エネルギーとエネルギー資源、様々な物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日常生活や社会で使われているエネルギーや物質、自然環境の保全と科学技術の利用について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギーと物質に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						1
							合計
							78

※ 高等学校学習指導要領〔化学基礎〕(2)物質の構成、(3)物質の変化とその利用 (7)物質と化学反応式、(3)物質の変化とその利用 (4)化学反応のうち ⑦酸・塩基と中和 について、内容を移行して指導する。

※ 中学校学習指導要領〔第1分野〕(6)化学変化とイオン (4)化学変化と電池 については、4 学年「化学基礎」で扱う。

中等教育学校

理科 科目 Adv. 生物 3

教 科： 理科 科 目： Adv. 生物 3 単位数： 1 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組 ～ D 組

使用教科書：（ 未来へひろがるサイエンス（啓林館） ）

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 科学を学ぶ楽しさや有用性を実感しながら自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数多くの観察、実験などを行い、探究の過程を通して科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度及び、科学的な根拠に基づいて多面的に判断しようとする態度を養う。

科目 Adv. 生物 3 の目標： 生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生命に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	生命に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。	生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 遺伝の規則性と遺伝子 【知識及び技能】 交配実験の結果などに基づいて、親の形質が子に伝わる時の規則性を見いだして理解すること。 DNA の構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としての DNA の特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性と DNA の複製に関連付けて理解すること。 遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNA の塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	・指導事項 遺伝の規則性と遺伝子 遺伝情報とDNA* 遺伝情報とタンパク質の合成* * 後期課程「生物基礎」の内容を、移行。 ・主な観察、実験、ワークショップ DNA抽出実験、及び探究 ・教材 新しい科学3、フォトサイエンス生物図録、生物基礎、生物	【知識・技能】 遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝の規則性と遺伝子について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考查			○	○		1
	C 生物の種類の多様性と進化 【知識及び技能】 現存の生物及び化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	・指導事項 生物の種類の多様性と進化 ・主な観察、実験、ワークショップ ICTのアプリを用いたシミュレーション 生物の形態比較観察 ・教材 新しい科学3、フォトサイエンス生物図録、生物基礎、生物	【知識・技能】 生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の種類の多様性と進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考查			○	○		1

2 学 期	E 生物と環境 【知識及び技能】 微生物の働きを調べ、植物、動物及び微生物を栄養の面から相互に関連付けて理解するとともに、自然界では、これらの生物が付き合いを保って生活していることを見だして理解すること。 生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性を見だして理解すること。また、生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	・指導事項 自然界の付き合い 生態系と生物の多様性* * 後期課程「生物基礎」の内容を、移行。 ・主な観察、実験、ワークショップ ICTのアプリを用いたシミュレーション ・教材 新しい科学3、フォトサイエンス生物図録、生物基礎、生物	【知識・技能】 日常生活や社会と関連付けながら、自然界の付き合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物と環境について、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物と環境に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	G 生物と環境 【知識及び技能】 身近な自然環境について調べ、様々な要因が自然界の付き合いに影響していることを理解するとともに、自然環境を保全することの重要性を認識すること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	・指導事項 自然環境の調査と環境保全 ・主な観察、実験、ワークショップ ICTを用いて身近な自然と人間との関係性についてグループ討論、及び発表 ・教材 新しい科学3、フォトサイエンス生物図録、生物基礎、生物	【知識・技能】 日常生活や社会と関連付けながら、自然環境の調査と環境保全についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物と環境について、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物と環境に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

3 学 期	H 生物と環境 【知識及び技能】 地域の自然災害について、総合的に調べ、自然と人間との関わり方について認識すること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	・指導事項 生命を維持する働き ・主な観察、実験、ワークショップ 動物の器官の観察 消化実験 診察RP ・教材 新しい科学1、フォトサイエンス 生物図録、生物基礎、生物	【知識・技能】 動物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生命を維持する働きについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	I 自然環境の保全と科学技術の利用 【知識及び技能】 自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察することを通して、持続可能な社会をつくることが重要であることを認識すること。 生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解すること。また、生態系の保全の重要性を認識すること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	・指導事項 自然環境の保全と科学技術の利用 生態系のバランスと保全* * 後期課程「生物基礎」の内容を、移行。 ・主な観察、実験、ワークショップ 身近な自然環境の保全例とその効果について ・教材 新しい科学3、フォトサイエンス 生物図録、生物基礎、生物	【知識・技能】 日常生活や社会と関連付けながら、自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自然環境の保全と科学技術の利用について、観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計 39

中等教育学校 令和7年度（3学年用） 理科 Adv. 地学3

教科：理科 科目：Adv. 地学3 単位数：1単位

対象学年組：第3学年 A組～D組

使用教科書：未来へひろがるサイエンス（啓林館）

理科の目標：自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】地学を学ぶ楽しさや有用性を実感しながら自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察・実験（モデル実験）などを行い、映像や写真資料を用いながら探求の課程を通して科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 Adv. 地学3の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地球と宇宙に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、気象とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	地球と宇宙に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。	地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 太陽系と恒星 ア 太陽系 【知識及び技能】 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 【思考力・判断力・表現力等】 太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見い出して表現する。また、探究の過程をふり返る。 【学びに向かう力、人間性等】 太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。 イ 恒星	・指導事項 ① 太陽系の天体の特徴や、惑星・小惑星・衛星・すい星などが、太陽のまわりを公転していることを理解させる。 ② 太陽系の天体について関心を持ち、資料などを用いて調べさせる。 ・主な観察、実験 ① 太陽系の太陽、惑星の縮図を作成して大きさの差を理解する。 ② 各惑星までの太陽からの距離を学校を中心とした縮尺に置き換えた縮図を作成させることにより、空間的な広がりを理解する。 ・教材 新しい科学1 地学図表 ワークシート ① 太陽は銀河系の恒星の1つであり、宇宙には銀河系のような星の集団が多数あることを理解させる。	【知識・技能】 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽の様子、惑星と恒星、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見い出して表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 太陽系と恒星に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6

		② 太陽系や太陽系の外の宇宙について関心を持ち、どのような天体があるかを調べさせる。 ③ 太陽系，銀河系，銀河の構造について理解し，知識を身につけさせる。 ・教材 新しい科学1 地学図表 ワークシート				
B 天体の動きと地球の自転・公転 ア 日周運動と自転 【知識及び技能】 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら，日周運動と自転，年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，それらの観察・実験の技能を身につける。 【思考力・判断力・表現力等】 天体の動きと地球の自転・公転について，天体の観察，実験などを行い，その結果や資料を分析して解釈し，天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現する。また，探究の過程を繰り返す。 【学びに向かう力、人間性等】 天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかわり科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに，自然を総合的に見ることができるようになる。	・主な観察、実験 ① 透明半球を用いた太陽の1日の動きの観測を個別に行うことができる。 ・指導事項 ① 太陽の1日の動きが，地球の自転によって起こる見かけの動きであることを捉えることができる。 ② 透明半球を用いた太陽の1日の動きの観測を個別に，季節毎に行わせることにより，季節による太陽の南中高度や昼間の長さの変化は，地球が地軸を傾けたまま自転しながら公転しているためであることを理解させる。（その1） ③ 1日の動きの記録の仕方を理解し，太陽や星の日周運動は，地球の自転によって起こる見かけの運動であることを理解させる。 ④ 観測地によって太陽や星座の見える方向が異なったり，見ることのできる天体が異なることを理解できる。 ・教材 新しい科学1 地学図表 ワークシート 小型透明半球（個別） 方位磁針（個別） ビデオカメラ	【知識・技能】 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら，日周運動と自転，年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 天体の動きと地球の自転・公転について，天体の観察，実験などを行い，その結果や資料を分析して解釈し，天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに，探究の過程を繰り返すなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。				
イ 年周運動と公転	・主な観察、実験 ① 季節によって見られる星座が異なることに関心を持ち，その原因を調べさせる。 ② 発砲ポリスチレン球を用いた個別地球儀の作成に関心をもたせる。 ③ モデル実験により，太陽の年周運動を再現することにより，季節によって見られる星座が変わることを理解させる。 ・教材 新しい科学1 地学図表 ワークシート					7

		発砲ポリスチレン球(個別地球儀の作成)					
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	C 太陽系と恒星 ウ 月の運動と見え方 【知識及び技能】 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 【思考力・判断力・表現力等】 月の運動と見え方について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。 【学びに向かう力、人間性等】 月の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	・指導事項 ① 日周運動と年周運動の違いを捉えることができる。 ② 同じ時刻に観測すると、星座の星は毎日約1° 東から西に移動し、太陽は逆に星座の星の間を西から東に移動していることを理解する。 ③ 透明半球を用いた太陽の1日の動きの観測を個別に、季節毎に行わせることにより、季節による太陽の南中高度や昼間の長さの変化は、地球が地軸を傾けたまま自転しながら公転しているためであることを理解させる。(その2) ・主な観察・実験 ① 同じ時刻に見た月の形と位置の変化を調べることができる。(課題) ② 発砲ポリスチレン球を用いたモデル実験を通し、月の見え方の変化は、太陽、地球、月の位置関係によって起こることを理解する。 ・指導事項 ① 地球から見える月の形や位置の変化を、月の公転と関連づけて捉えることができる。 ② 日食・月食の現象を理解し、太陽・月・地球の位置関係によって起こることを理解する。 ・教材 新しい科学1 地学図表 ワークシート 地球儀 小型透明半球 光源	【知識・技能】 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 月について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 月の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	C 天体の動きと地球の自転・公転 イ 年周運動と公転 【知識及び技能】 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 【思考力・判断力・表現力等】 天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。	・主な観察・実験 ① 透明半球を用いた太陽の1日の動きの観測を個別に、季節毎に行わせることにより、季節による太陽の南中高度や昼間の長さの変化は、地球が地軸を傾けたまま自転しながら公転しているためであることを理解させる。(その3) ② 透明半球に記録した太陽の日周運動の経路から、季節による太陽の南中高度や昼間の長さがことなることを捉えることができる。 ③ 季節による太陽高度の変化や気温の変化に興味をもち、資料などによって調べてみようとする。 ④ モデル実験により、地軸の傾きによって、季節による太陽高度の変	【知識・技能】 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7

	【学びに向かう力、人間性等】 天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかわり科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	化や昼夜の長さの変化が起こることを捉えることができる。 ・指導事項 ・指導事項 ① モデル実験により、太陽高度の違いが日射量の違いになることを捉えることができる。 ・教材 新しい科学1 地学図表 ワークシート 自作地球儀 光源 大型分度器 白熱球 デジタル温度計	天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				
	定期考査			○	○	○	1
3学期	C 太陽系と恒星 ウ 金星の運動と見え方 【知識及び技能】 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 【思考力・判断力・表現力等】 金星の運動と見え方について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。 【学びに向かう力、人間性等】 金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	・指導事項 ① 金星が真夜中に見えないことに関心をもち、その原因を調べようとする。 ② 金星が星座の星の間を動いていくように見えるのは、地球と金星の公転周期の違いによって起こることを捉えることができる。 ・主な観察・実験 ① モデル実験を通して金星の見え方の変化を、太陽・金星・地球の位置関係の変化と関連づけて捉えることができる。 ・指導事項 ③ 火星の動きの資料から天球上の見かけの動きを作図して、今までの恒星や太陽の見かけの動きとの違いを理解する。 ・主な観察・実験 ② 惑星の公転と地球の公転の作図を通して、見かけの動きが複雑になることを理解する。 ③ 発泡ポリスチレン球を使って内惑星、外惑星の満ち欠け、日食、月食についてモデル実験により、理解する。	【知識・技能】 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 月について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。【	○	○	○	4
	D太陽系と恒星 ア 太陽の様子 【知識及び技能】 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や太陽の表面のようすについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。） 【思考力・判断力・表現力等】 月や太陽、恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。	・指導事項 ① 太陽について関心をもち、太陽表面を観察する方法を理解する。 ② 太陽の特徴を理解し、太陽の表面に見られる黒点やプロミネンスなどの名称を知る。 ③ 陽系以外の恒星や惑星について現在調べられている天体について資料で理解する。	【知識・技能】 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や太陽の表面のようすについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 月や太陽、恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4

	【学びに向かう力、人間性等】 太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				
定期考査			○	○	○	1
						合計
						39

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教 科： 保健体育 科 目： 保健体育 単位数： 3 単 位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 「保健体育」大日本図書 ）

教科 保健体育 の目標：

- | | |
|----------------|---|
| 【知 識 及 び 技 能】 | 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 |

科目 保健体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。	運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 球技「ゴール型」サッカー 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどのを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基礎練習（インサイドキック、インステップキック、インフロントキック、アウトサイドキック、ドリブル） ・2対1 ・3対2 ・試合 ・学習カードの活用 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ①各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを理解している。 ②仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、空間を作り出し、攻撃を展開できる。 【思考・判断・表現】 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①球技の学習に自主的に取り組んでいる。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ③健康・安全を確保している。	○	○	○	13
B 球技「ゴール型」バスケットボール 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどのを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基礎練習（ハンドリング、パス、ドリブル、ピボット、キャッチ、シュート、ドリブルシュート） ・1対1 ・2対1 ・3対2 ・試合 ・学習カードの活用 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ①各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを理解している。 ②仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、空間を作り出し、攻撃を展開できる。 【思考・判断・表現】 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①球技の学習に自主的に取り組んでいる。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ③健康・安全を確保している。	○	○	○	13

1 学 期	C 水泳 【知識及び技能】 3学年では特に背泳ぎについて技能を習得し、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	・背面で浮く練習 ・手の動きの練習 ・足の動きの練習 ・ブルとキックのタイミングを合わせた練習（呼吸も含む） ・スタート練習 ・ターン練習 ・学習カードの活用 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ①各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることを理解している。 ②背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①水泳の学習に自主的に取り組んでいる。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ③健康・安全を確保している。 ④水の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保している。	○	○	○	9
	D 保健 【知識・技能】 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できるようにする。健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は、正しく使用することができるようにする。 【思考・判断・表現】 健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	・感染症の原因・予防について ・エイズ及び性感染症について ・住民の健康診断や健康相談などを適宜取り上げ、健康増進や疾病予防についての地域の保健活動について ・医薬品の有効利用について	【知識・技能】 ①病原体には、細菌やウイルスなどの微生物があり、身体に侵入することによって感染症を発生させること、その発生には温度、湿度などの自然環境、住居、人口密度、交通などの社会環境、また、主体の抵抗力や栄養状態などの条件が相互に複雑に関係していることを理解している。また、感染症の予防には、発生源をなくすこと（消毒・殺菌）、感染経路を遮断すること、身体を抵抗力を高めること（栄養の接種や予防接種）が有効であることを理解している。 ②感染症にかかった場合、疾病からの回復とともに、周囲に感染を広げないことが大切で、そのためにできるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることを理解している。 ③個人の健康を守る社会の取り組み（保健医療制度など）について理解している。 ④医薬品についての正しい知識を理解している。 【思考・判断・表現】 ①感染症の予防や健康を守る社会の取組について、習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択している。 ②健康な生活と疾病の予防について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。 ③医薬品の利用について、自他の現状を振り返り、改善が必要であるかどうか具体的に検討し、改善策を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康な生活と疾病予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	E 球技「ベースボール型」ソフトボール 【知識及び技能】 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどのを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・キャッチボール ・Tバッティング ・フリーバッティング ・ノック ・試合 ・学習カードの活用 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ①各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを理解している。 ②易しい投球に対する安定したバット操作により出塁・進塁・得点する攻撃と連携した守備のバランスのとれた攻防を展開できる。 【思考・判断・表現】 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①球技の学習に自主的に取り組んでいる。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ③健康・安全を確保している。	○	○	○	17

2 学 期	F 球技「ネット型」バレーボール 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどの大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基礎練習（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス） ・スパイク練習 ・サーブ練習 ・ミニゲーム ・試合 ・学習カードの活用 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ①各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを理解している。 ②ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 【思考・判断・表現】 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①球技の学習に自主的に取り組んでいる。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ③健康・安全を確保している。	○	○	○	17
	G 体育理論 【知識・技能】 スポーツは文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要であることを理解できるようにする。 オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツなどは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解できるようにする。 スポーツは、民族や国、人種や性、生涯の違いなどを超えて人々を結び付けていることを理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 文化としてのスポーツの意義について自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。	・国内外には、スポーツの文化的意義を具体的に示した憲章やスポーツの振興に関する計画などがあることについて ・メディアの発達によって、スポーツの魅力が世界中に広がり、オリンピック・パラリンピック競技大会や国際的なスポーツ大会の国際親善や世界平和などに果たす役割が一層大きくなっていることについて ・年齢や性、障害などの違いを超えて交流するスポーツ大会が行われるようになっていることなどについて ・学習カードの活用	【知識・技能】 ①現代生活におけるスポーツは、生きがいのある豊かな人生を送るために必要な健やかな心身、豊かな交流や伸びやかな自己開発の機会を提供する重要な文化的意義をもっていることを理解している。 ②オリンピック・パラリンピック競技大会や国際的なスポーツ大会などは、世界中の人々にスポーツのもつ教育的意義や倫理的な価値を伝えたり、人々の相互理解を深めたりすることで、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解している。 ③スポーツには民族や国、人種や性、障害の有無、年齢や地域、風土といった違いを超えて人々を結び付ける文化的な働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 現代生活におけるスポーツの文化的意義、国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な役割、人々を結び付けるスポーツの文化的な働きについて、習得した知識を活用して、運動やスポーツとの多様な関わり方や楽しみ方についての自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて、思考し判断するとともに、自己の意見を言語や記述を通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文化としてのスポーツの意義を理解することや、意見交換や学習ノートの記事などの、思考し判断するとともにそれらを表現する活動及び学習を振り返る活動などに自主的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	H 体づくり運動 【知識及び技能】 体はぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・補強運動（腕立て腹筋、背筋） ・ももあげ、けりあげ、かかえこみジャンプ ・種目に合わせたストレッチ・トレーニング 等	【知識・技能】 ①定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解している。 ②運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことを理解している。 【思考・判断・表現】 課題を解決するために仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①体づくり運動の学習に自主的に取り組んでいる。 ②一人一人に応じた動きなどの違いを大切にしようとしている。 ③健康・安全を確保している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

3 学 期	I 陸上競技 【知識及び技能】 長距離走では自己に適したペースを維持して走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けての運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・1 2分間走 ・男子：1 5 0 0 m走 ・女子：1 0 0 0 m走 ・学習カードの活用 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ①自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることを理解している。 ②技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的なその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ③健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	J 球技「ゴール型」アルティメット 【知識及び技能】 安定したディスク操作と空間を作り出すなどの動きによってゴールへの侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどのを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基本スロー（バックハンドスロー・サイドアームスロー） ・対人技能（三角パス、ワンツーパス） ・シュート（ロング、ショート） ・3 対 3 ・試合 ・学習カードの活用 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ①各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを理解している。 ②仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、空間を作り出ししたりして攻防を展開できる。 【思考・判断・表現】 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①球技の学習に自主的に取り組んでいる。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ③健康・安全を確保している。	○	○	○	12
	K 保健 【知識及び技能】 身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体に適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があることを理解している。 飲料水や空気は、健康と密接な関わりがあること。また、飲料水や空気を衛生的に保つには、基準に適合するよう管理する必要があることを理解している。 人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 健康と環境についての学習に自主的に取り組もうとしている。	・屋内外での熱中症や山や海での遭難などによる低体温症などについて ・飲料水の水質については一定の基準が設けられており、水道施設を設けて衛生的な水を確保していることについて ・ごみの減量や分別などの個人の取組が、自然環境の汚染を防ぎ、廃棄物の衛生的管理につながることにについて ・学習カードの活用 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ①身体には、環境の変化に対応した調節機能があり、一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があるが、適応の限界を超えると健康に重大な影響が見られることから、気象情報の適切な利用が有効であることについて、理解している。 ②温度・湿度・明るさなどには、人間が活動しやすい至適範囲があり、その至適範囲は様々な条件で変化することについて、理解している。 ③水は、人間の生命の維持や健康と密接な関わりがあるため、飲料水の水質については一定の基準が設けられており、水道施設を設けて衛生的に検査し、管理されていることについて、理解している。 ④室内の二酸化炭素は、人体の呼吸作用や物質の燃焼により増加するため、室内の空気が汚れてきているという指標となり、定期的な換気が有効であること、空気中の一酸化炭素は、主に物質の不完全燃焼によって発生し、吸入すると一酸化炭素中毒を容易に起こし、人体に有害であることについて、理解している。 ⑤人間の生活に伴って生じたし尿やごみなどの廃棄物はその種類に即して自然環境を汚染しないように衛生的に処理されなければならないことについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ①健康と環境に関わる原則や概念を基に、収集した情報を整理したり、習得した知識を個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見し、課題解決に取り組み、健康を保持増進する方法を選択している。 ②健康と環境について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、疾病等にかかるリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を選択し、他者と話し合ったり、ワークシートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康と環境について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

合計

117

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：音楽 科目：中学音楽3 単位数：1 単位
対象学年組：第3学年 A組～D組
使用教科書：（中学生の音楽2・3下（教育芸術社）／中学生の器楽（教育芸術社）／音楽のハーモニー2・3下（正進社））
教科音楽の目標：

- 【知識及び技能】曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目	中学音楽3	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解すること。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むこと。曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解していること。	・指導事項；歌唱 ・教材；花／花の街／My Voice!／A Million Dreams ・一人1台端末の活用 等	○			・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】		○	○	○	4
音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりについて、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。				○	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている		○	○	○	4

[illegible]

	日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりについて、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。	・指導事項；鑑賞 ・教材；能「敦盛」／謡「敦盛」／沖縄の伝統芸能「組踊」に親しもう／タやけ小やけ ・一人1台端末の活用 等				音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	○	○	○	2
	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりについて、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。	・指導事項；鑑賞 ・教材；ポピュラー音楽／ポピュラー音楽のジャンル／ルールを守って音楽を楽しもう／生活や社会の中の音楽 ・一人1台端末の活用 等				音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽を作る。	○	○	○	4
	曲種に応じた発声を生かして、歌唱表現を工夫しよう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解すること。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱で表すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること。	・指導事項；鑑賞・歌唱 ・教材；Let It Be／帰れソレントへ ・一人1台端末の活用 等	○			音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	○	○	○	4
	世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりについて、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。	・指導事項；鑑賞 ・教材；世界の諸民族の音楽／私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能 ・一人1台端末の活用 等				・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	2

3 学 期	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	・指導事項；歌唱 ・教材；歌い継ぐ 日本之歌／心通う合唱	○	○	○	合 計	39
	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解すること。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱で表すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むこと。曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使用などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○		

年間授業計画

中等教育学校 令和7年度（3学年用） 教科

美術 科目 美術

教 科： 美術 科 目： 中学美術1

単位数： 1 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 開隆堂出版 美術2・3

教科 美術 の目標：

- 【知識及び技能】対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるよう
【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする
【学びに向かう力、人間性等】美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 画 彫 刻	デ ザ イ ン 工 芸	描 く	つ く る						
1. 「造形的な視点から見る美術史①」 B鑑賞(1)イ(イ) [共通事項]	日本美術史（明治～昭和戦前）・西洋美術史（フォービズム～シュルレアリスム）の大まかな流れを、それぞれの時代の地域や文化の造形的な特徴について学ぶ。 教科書・表現と鑑賞 タブレット					○	(1)「知識及び技能」 (知) 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 (2)「思考力、判断力、表現力」 (鑑) 日本美術の表現の特質から、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深め、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、見方や感じ方を深めている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 (態度) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日本美術の表現の特質から、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深め、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
定期考査								○	○		1
1 学 期 2. 「○○派の技法で描く自画像」 A表現(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ) 《描く活動》 B鑑賞 (1)ア(ア) [共通事項]	①様々な表現技法・様式で描かれた自画像を鑑賞し、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考える。 ②自己を深く見つめて主題を生み出し、様々な表現方法・様式を活かして自画像を描く。 ③お互いの作品を鑑賞しあい、作者の心情や表現の意図を感じ取り、よさや美しさを楽しむ。 教科書、表現と鑑賞、タブレット アクリルガッシュ・透明水彩絵の具・キャンバスボード	○				○	(1)「知識及び技能」 (知) 形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 (知) 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 (技) 絵の具や表現技法・様式の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追究して創造的に表現している。 (技) 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。 (2)「思考力、判断力、表現力」 (発) 自分を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 (鑑) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (3)「学びに向かう力、人間性など」 (態度) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に意図に応じて工夫して表す表現の学習に取り組もうとしている。 (態度) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	○	○	○	11

2 学 期	2. の続き		○				○		○	○	○	○	4
	3. 「造形的な視点から見る美術史②」 B鑑賞 (1)イ(イ) [共通事項]	日本美術史（戦後～現代先端）・西洋美術史（タダイズム～現代先端）の大まかな流れを、それぞれの時代の地域や文化の造形的な特徴について学ぶ。 教科書・表現と鑑賞 タブレット					○			○	○	○	1
	定期考査									○	○		1
	4. 「機能美を感じる豆食器を作ろう」 A表現 (1)ア(2) (2)ア(ア)(イ) B鑑賞 (1)ア(イ) [共通事項]	(1) 立体のデザイン（製品）から、機能と美しさの調和を感じとる。 (2) 機能と美しさが調和した「豆食器」をデザインし、陶芸の作品にする。 (3) お互いの作品を鑑賞しあい、目的や機能との調和のとれたよさや美しさを味わう。 教科書・表現と鑑賞 タブレット 陶土、化粧土、釉薬、粘土板、粘土べら、たた板、のべ棒、細工かん					○	○		○	○	○	9
3 学 期	4. の続き												10
							○	○		○	○	○	合計 39

教 科： 技術科 科 目： 技術 單位數： 0.5 單位
對象学年組：第 3 学年 A 組～ D 組
使用教科書：（ 技術・家庭 技術分野（東京図書） ）

科目 技術 の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	以下の活動を通して、基本的な知識・理解を豊かにし、日常を豊かにするための思考力・判断力及び主体的に日常に活用する態度を育成する： ・作物の栽培の仕方を知させる ・栽培に必要なものとして栽培容器、水やり、日当たり、風通しについて知らせる ・人口の増加と食料生産の関わりを知り食料不足や飢饉の現状について考えさせる ・作物の生育の仕方を知り生育の規則性と作業の適期について調べさせる ・作物を栽培させて苗を育てるための技術を知り作物に適した手入れを工夫させる ・栽培計画表をまとめさせる	・生物育成に関する技術 ・栽培に必要な条件 ・作物の生育の仕方を知り生育の規則性と作業の適期について調べさせる ・作物を栽培させて苗を育てるための技術を知り作物に適した手入れを工夫させる ・栽培計画表をまとめさせる	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	1
			【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	2
	・栽培に必要な水・温度・空気について重要性を考えさせる ・間引きの要領と意味を考察する ・肥料の必要性と追肥の役割を理解させる ・病害虫予防にはどのようなものがあるか調べさせる	・栽培に必要な環境 ・間引きと追肥 ・病害虫防除	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	2
	・気象、土壌、生物的要素についての理解を深める ・光合成のしくみについて知らせる ・肥料の三要素とその成分の役割について調べさせる ・自分の栽培している作物の最適な手入れ方法を考えさせる	・生物育成の技術・知識 ・光合成のしくみ ・肥料の種類	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	2
	期末考査			○	○	○	0.5
2 学期	・身のまわりの機器で、どのようなエネルギーを利用して動作するのかの製作を通して学習する ・電気エネルギーから光エネルギーへの変換を学ぶ	・電気エネルギーの変換と利用方法 ・電気エネルギーから光エネルギーの変換	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	3
	・電気製品を作成しながら抵抗・コンデンサ・トランジスタの働きを回路計等で確かめる ・情報のデジタル化について知り情報を安全に利用することを学ばせる ・情報のデジタル化の方法・情報量の単位・ビット・バイトを理解させる	・トランジスタの原理 ・コンデンサ抵抗の働き ・電磁波の種類 ・ネットワークを支える技術 ・情報のデジタル化	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3
	期末考査			○	○	○	0.5
3 学期	・入力機能、出力機能、演算機能、記憶機能、制御機能の各機能の働きを理解させる ・マザーボード、ハードディスク、CPUメモリー等の実物を見せながら理解を深めさせる ・基本ソフトウェア（OS）と応用ソフトウェアの違いについて調べさせその必要性を考えさせる ・プログラム学習をおこなう	・コンピュータの基本 ・コンピュータのしくみ ・ハードウェアとソフトウェア ・OSの種類 ・プログラムで電気製品を制御する	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3
	・情報通信ネットワークのしくみと機器について知らせる ・LAN、WAN、ルータ、ハブなどの説明 ・インターネットの仕組みを理解させ、なぜIPアドレスが必要と考えさせる ・情報をやり取りするには一定の手順を決めておく必要があることを学ばせる	・情報通信ネットワーク ・LANのしくみ ・インターネットのしくみ ・通信プロトコル	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	2
	学年末考査			○	○	○	0.5
							合計
							19.5

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	この編の学習の目標と学習内容を知る	編の導入	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	1
	・日本の食文化について理解を深め、さまざまな視点から現代の食生活の課題を見つけるとともに解決策を考えることができる。	わたしたちのより豊かな食生活 1. 食文化 2. よりよい食生活をめざして	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	2
	・社会と食生活との関係性を理解するとともに、自分の選択が社会へどう影響を及ぼすのかに気づく。	わたしたちのより豊かな食生活 2. よりよい食生活をめざして	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	2
			【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	2
	期末考査			○	○	○	0.5
2 学 期	・自分の幼いころを思い出し、育てられている時代に育つことを学ぶ。 ・幼児の心身の発達の特徴を知り、発達の大切さを考える。 ・幼児にとっての遊びの意義を理解し、幼児に役立つおもちゃを製作する。 ・幼児と触れ合う実習を通して、ともに育ちあうことの大切さやコミュニケーションのあり方を学ぶ。	わたしたちの成長と家族・地域 1. 幼いころを振り返ろう 2. 幼児の心身の発達と生活を考えよう 3. 幼児の生活と遊びを知らろう 実習 幼児と触れ合おう	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	3
	・自分の成長や生活が家族や身近な人々に支えられてきたことに気づく。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について考える。 ・子どもを取り巻く環境として、家庭以外の環境を考える。 ・家庭生活は地域の支援が合せて成り立っていることに気づき、地域の一員としての活動を知る。	わたしたちの成長と家族・地域 4. 子どもにとっての家族を考えよう 5. 子どもを取り巻く環境を考えよう	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	3
	期末考査			○	○	○	0.5
3 学 期	調理実習 一人調理テスト ・家庭や家族の基本的な機能について考える ・家庭や家族の大切さについて考える	家庭や家族の機能について考えよう 中学生としての自立を考えよう	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3
	地域の活動などを調べ、自分や家族がどのように関わっているか考える	家庭を支える社会について	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	2
	学年末考査			○	○	○	0.5
							合計
							19.5

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 道徳

単位数： 1 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 中学生の道徳「自分をのばす3」（廣済堂あかつき） ）

教科 道徳 の目標：

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	リクエスト 自分たちの軽はずみな行為を悔やむ 伊藤君たちの心情を共感的に理解することを通して、自律的な判断と責任の大切さに気付き、自主的によく考えて判断し、行動の結果に責任をもつ道徳的態度を養う。	・伊藤君はバスの中で涙を流しながら、どのようなことを考えていたのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 軽はずみな行為を悔やむ伊藤君たちの心情を様々な視点から捉え考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 伊藤君たちの心情を自分自身に置き換えて想像し、自主的によく考えて判断し、行動の結果に責任をもつことについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	スダチの苗木 両親の苦労を知って心を震わせる筆者の心情を共感的に理解することを通して、自分を育んでくれている家族の愛情の深さに気付き、家族を敬愛して、家族の一員としてよりよい家庭生活を築こうとする道徳的態度を養う。	・両親の苦労を知った時、どのような思いが筆者の心を激しく震えさせたのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 両親の苦労を知った筆者の思いを様々な視点から捉え考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 両親の苦労を知った筆者の思いを自分自身に置き換えて想像し、自分を育んでくれている家族の愛情について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	山寺のびわの実 さえと竹庵の話聞いて、深々と頭を下げる甚太の心の変化について考えることを通して、寛容で謙虚な心のよさや大切さに気付き、相手の個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方を受け入れていく道徳的態度を養う。	・さえと竹庵の話聞いた甚太は、深々と頭を下げながらどのようなことを考えていたのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 深々と頭を下げる甚太の心の変化について様々な視点から捉え、寛容で謙虚な心のよさや大切さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 深々と頭を下げる甚太の心の変化を自分自身に置き換えて想像し、寛容で謙虚な心のよさや大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	独りを慎む 一人暮らしを始めた筆者がぶつかった「どきんとすること」を手がかりに、「独りを慎む」ことの意義を考えることを通して、節制に心掛けて、心身の健康や安全で調和のある生活を築いていこうとする道徳的実践意欲を培う。	・筆者が「誰が見ていなくても、独りでいても、慎むべきものは慎まなくてはいけない」と言うのは、どうしてだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 度を過ぎてしまう弱さと節度を守ることの大切さの両面を理解し、「独りを慎む」ことの意義を様々な視点から捉え考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 節度を守り、望ましい生活習慣を築いていくことの難しさも理解しながら、自分を振り返って、節制に心掛けることについて自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。				1
	誰かのために 残りわずかな時間を子供たちのために必死に生きようとする母の姿から、「誰かのために生きる」ことについて考えることを通して、生命の尊さを有限性や関係性など多面的・多角的に理解し、かけがえのない生命を尊重する道徳的心情を育む。	・母が必死に生きて、子供たちにバトンタッチした「大切なこと」とは何だろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 母の生き方を様々な視点から捉え、生命の尊さやかけがえのなさについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 母の生き方から考えたことを基に、自分の考えを見直し、生命の尊さやかけがえのなさについて自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。				1
	優しいうそ 交通事故による苦難を乗り越え、「語り部女優」として復帰を決心した筆者の生き方について考えることを通して、勇気と希望をもって生きることの大切さに気付き、より高い目標に向かって、困難や失敗を乗り越えていこうとする道徳的実践意欲を培う。	・どす黒い不安を乗り越えて、筆者が「語り」に挑戦することを決心できたのは、どうしてだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 大きな苦難を乗り越えた筆者の心や生き方を様々な視点から捉え、勇気と希望をもって生きることの大切さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 「語り」をやることを決心した筆者を自分自身に置き換えながら想像し、勇気と希望をもって生きることについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	監督がくれたメダル 監督やYとのやり取りを通じて、嫌だったノックを丁寧に打つようになった筆者の心の変化について考えることを通して、自己の所属する集団の意義や自らの役割を理解し、責任を自覚して集団生活の充実に努める道徳的実践意欲を培う。	・筆者がノックを丁寧に打つようになったのはどうしてだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ ノックを丁寧に打つようになった筆者の心の変化を様々な視点から捉え、集団における役割と責任の自覚について考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ ノックを丁寧に打つようになった筆者の心を自分自身に置き換えながら想像し、集団における役割と責任の自覚について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	卒業文集最後の二行 T子さんへのいじめを悔いる筆者の心情について考えることを通して、愚かしいいじめを引き起こす人間の弱さや醜さに気付き、差別や偏見、いじめや不正な言動を断固として許さない道徳的態度を養う。	・T子さんの卒業文集最後の二行を見て、筆者はどのような思いで果てもなく泣いたのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 筆者の心情を様々な視点から捉え、いじめを引き起こす人間の弱さや醜さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 深くいじめを悔いる筆者の心を自分自身に置き換えながら想像し、いじめを許さない生き方について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1

原稿用紙 お世話になっていた難波商店の専務から電話を受け、話を聞いた筆者の心情について考えることを通して、互いに支え合う関係性のよさに気づき、思いやりの心と感謝の念による人と人とのつながりを大切にする道徳的心情を育む。	・専務の話聞いて、筆者はかすんだ目を拭いながら、どのようなことを考えていたのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 専務から話を聞いた筆者の心情を様々な視点から捉え、互いに支え合う関係性のよさについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 筆者の心情を自分自身に置き換えながら想像し、互いに支え合う関係性のよさについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
襟裳のこと 襟裳の人々による自然再生の取り組みを知った「私」の思いについて考えることを通して、自然の崇高さや自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努める道徳的实践意欲を培う。	・「流水」の話聞いた「私」は、知床の海を眺めながら、どのようなことを考えていたのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 襟裳の話聞いた「私」の思いを様々な視点から捉え、自然の崇高さや自然環境を大切にすることの意義について考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 「私」の思いを自分自身に置き換えながら想像し、自然の崇高さや自然環境を大切にすることの意義について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
ぶれない心 ― 松井 秀喜 ― 自分で考え、工夫しながら努力を積み重ねてきた松井秀喜さんの生き方について考えることを通して、自己を見つめ、自己の向上を図っていくとする道徳的实践意欲を培う。	・「努力できることが才能である」とはどういうことなのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 友達の感じ方や考え方を理解しながら、自己を向上させていくことについて様々な視点から捉え考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 現在の自分自身を振り返って、自己を向上させていくことについて自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。				1
ひまわり 美しい景色を目にしたことをきっかけに、絶望を乗り越え、誇りをもって生きようとする筆者の生き方の変化について考えることを通して、自らの弱さや醜さと戦い、自己を奮い立たせて、生きる希望や喜びを見出す道徳的心情を育む。	・死んでしまおうとまで思っていた麻衣さんの考えが変わったのは、どうしてなのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 筆者の生き方の変化を様々な視点から捉え、人間として生きる喜びについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 教材での学びを基に、自分の考えを振り返り、人間として生きる喜びについて自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。				1
ライバル 友情をめぐる良心の呵責に苦しみながらも、それを乗り越えていこうとする啓介と康夫の心情を共感的に理解することを通して、心から信頼できる友達のよさや大切さに気づき、友達と互いに励まし合い、高め合う関係を築いていこうとする道徳的实践意欲を培う。	・手紙を通して、康夫はどのような思いを啓介に伝えようとしたのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 康夫が手紙に込めた思いを様々な視点から捉え、心から信頼できる友達のよさや大切さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 啓介と康夫の思いを自分自身に置き換えて想像し、友人関係の悩みや葛藤についても理解しながら、心から信頼できる友達について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
ピヨ子 加奈子が美沙に送った画像が拡散したことで起きた問題について考えることを通して、自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつ道徳的態度を養う。	・この話の中で、誰のどのようなところに問題があるのだろう。理由を含めて考えてみよう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 友達の感じ方や考え方を理解しながら、画像が拡散したことで起きた問題を様々な視点から捉え考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 情報社会における行為と責任について自分の考えを見直し、自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつことについて自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。				1
席を譲られて 高橋健二氏の礼儀の美しさと、それを目撃した筆者の礼儀について考えることを通して、相手の人格を認め、尊敬や感謝の念を伝える礼儀のよさや大切さに気づき、時と場に応じて適切な言動をとろうとする道徳的实践意欲を培う。	・筆者が席を譲られる時、丁寧に礼をするのはどうしてだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 高橋健二氏の礼儀の美しさや、それを目撃した筆者の礼儀を様々な視点から捉え、礼儀のよさや大切さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 教材での学びを基に、自分の生活や体験を振り返りながら、相手の人格を認め、尊敬や感謝の念を伝える礼儀のよさや大切さについて自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。				1
てんびんばかり 「比べられないものがある」という父の言葉を聞いて筆者が気付いたことについて考えることを通して、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通じて社会に貢献しようとする道徳的实践意欲を培う。	・筆者は、どのようなことを考えて「まだまだ私は幼いな」と思ったのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 父の言葉を聞いた筆者が気付いたことを様々な視点から捉え、勤労の尊さや意義について考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 自分の考えを見直しながら、勤労の尊さや意義について自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。				1
アイツの進路選択 進路選択をめぐる真一と夏樹の思いを共感的に理解し、よりよい関係を築いていくことについて考えることを通して、異性間においても信頼と敬愛の念に基づき、互いを向上させていける人間関係を築いていく道徳的態度を養う。	・今後、二人がよりよい関係を築いていくためには、どのようなことを大切にしたらよいのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 二人の関係の問題を様々な視点から捉え、人間関係における信頼と敬愛の念の大切さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 二人がよりよい関係を築いていくために大切なことを考え、信頼と敬愛の念に基づいた人間関係を築いていくことについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1

2 学 期	月明かりで見送った夜汽車 I先生の気持ちを察して電気を消す Y先生と、それに対して声をあげ拍手を送る先生たちの思いについて考えることを通して、相手の重荷にならない思いやりのよさや大切さに気付く、深い理解と共感に基づく思いやりの心を大切にする道徳的心情を育む。	・みんなの「オー」という声と拍手には、誰に対するどのような思いが込められているのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ みんなの喚声と拍手に込められた思いを様々な視点から捉え考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 筆者の心情を自分自身に置き換えて想像し、自分の体験を振り返って、深い理解と共感に基づく思いやりのよさや大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	母と子のロードレース アスリートとしてのリスクを省みず、母への生体肝移植を行いながらも、ロードレースに挑戦し続けた宮澤崇史さんの思いについて考えることを通して、家族からの支えや無私の愛情に気付く、家族の一員としての自覚をもって、互いに支え合う家庭生活を築いていく道徳的実践意欲を培う。	・過酷なトレーニングを続ける宮澤さんを支えていたのは、どのような思いなのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 生体肝移植を行っても、ロードレースに挑戦し続ける宮澤さんの思いを様々な視点から捉え考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 過酷なトレーニングに立ち向かう宮澤さんを自分自身に置き換えて想像し、家族からの支えや愛情に応えることについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				2
	ドナー 二つの投書の意見の根底にある命に対する感じ方や考え方を探り、生命倫理の問題について考えることを通して、生命の尊さを多面的・多角的に理解し、自他の生命の尊厳を守る道徳的態度を養う。	・二つの投書を読んで、命についてどのように考えるだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 投書の筆者や友達の感じ方や考え方を理解しながら、生命倫理の問題を様々な視点から捉え考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 自分の考えを振り返り、見直ししながら、自他の生命の尊厳について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				2
	虹の国 ― ネルソン・マンデラ ― ネルソン・マンデラが目指した社会の在り方について考えることを通して、無知から生まれる偏見や不寛容な心など人間の弱さや醜さに気付く、正義と公正さを重んじ、差別や偏見のない社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。	・アパルトヘイトが終焉したのに、マンデラが「まだ戦いは終わっていない」というのは、どうしてだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ マンデラが目指す社会の在り方を様々な視点から捉え、差別や偏見を生む人間の弱さや醜さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 教材での学びを基に自分の考えを振り返りながら、差別や偏見のない社会の実現について自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。				2
	風に立つライオン 「風に向かって立つライオンでありたい」と願う「僕」の生き方について考えることを通して、人生の理想を追い求めることの大切さや素晴らしさに気付く、強い意志と希望をもって人生を切り拓いていく道徳的実践意欲を培う。	・「風に向かって立つライオンでありたい」とは、どのような生き方なのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 「僕」の生き方を様々な視点から捉え、人生の理想を追い求めることの大切さや素晴らしさについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 理想を追い求める「僕」の願いを自分自身に置き換えて想像し、自分の考えを見直しながら、人生の理想を追い求めることについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				2
	二人の弟子 純白の白百合を見て涙を流す智行の思いについて考えることを通して、自己の弱さや醜さを乗り越えようとする人間の強さや気高さに気付く、人間としてよりよく生きる喜びを見出していこうとする道徳的実践意欲を培う。	・白百合を見て涙を流しながら月の光の中に立ち尽くす智行は、どのような思いだったのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 白百合を見て涙を流す智行の思いを様々な視点から捉え、自己の弱さや醜さを乗り越えようとする人間の強さや気高さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 智行の思いを自分自身に置き換えて想像し、自己の弱さや醜さを乗り越えようとする人間の強さや気高さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				2
	ほっちゃんれ ほっちゃんれのすさまじい生涯や、ほっちゃんれを手にとってやる男性に対する筆者の思いを共感的に理解することを通して、大いなる自然の神秘や生命の営みに感動や畏敬の念をもつ道徳的心情を育む。	・「胸のぬれわたる思いがある」という筆者は、心の中でどのようなことを思っていたのだろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 友達の感じ方、考え方を理解しながら、筆者の思いを様々な視点から捉え考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 筆者の思いを自分自身に置き換えて想像し、自然や生命に対する感動や畏敬の念について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	カントとルソー カントがルソーの『エミール』から学んだことについて考えることを通して、人間が本来的にもつ良心の尊さに気付く、自律の精神を重んじる道徳的心情を育む。	・「知識ではなく、人間を尊重することを学んだ」とはどういうことだろう。あなたが尊重すべきだと思う「人間」とは、どのような存在だろう。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	◆ 友達の感じ方や考え方を理解しながら、尊重すべきだと思う「人間のよさ」を様々な視点から捉え考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 人間を尊重することについて話し合うことを通して、自分の内にある良心を自覚し、自律の精神を重んじることについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1

3 学 期	ある元旦のこと 挨拶板に深々と頭を下げる少年を目撃した筆者の感動を共感的に理解することを通して、人と人との心の通い合いのよさに気づき、人は互いに支え合って生きていることを自覚し、思いやりと感謝の心をもって他者に接していこうとする道徳的実践意欲を培う。	・頭を下げる少年の姿を見た筆者は、どのようなことを感じたのだろう。 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用 等	◆ 筆者の感動を様々な視点から捉え、人と人との心の通い合いのよさについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 筆者の感動を自分自身に置き換えて想像し、人と人との心の通い合いのよさ、思いやりと感謝の心の大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	海と空 ― 樫野の人々 ― エルトウール号の話を知った 「私」の思いについて考えることを通して、国際的な相互扶助のよさや大切に気づき、世界の平和と人類の発展のため、他国の人々と支え合い、助け合おうとする道徳的実践意欲を培う。	・海と空が水平線一つになるのを見ながら、「私」はどのようなことを考えていたのだろう。 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用 等	◆ 友達を感じ方、考え方を理解しながら、教材での学びを基に、国際的な相互扶助の在り方を様々な視点から捉え考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 樫野の海を見る「私」の思いを自分自身に置き換えて想像し、国際的な相互扶助のよさや大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	ベビーカー論争 ベビーカー論争の解決について考えることを通して、社会生活における公德心の大切さに気づき、遵法精神とそれを支える公德心を大切にして、規律ある安定した社会の実現に努める道徳的態度を養う。	・ベビーカー論争を解決するには、誰がどのようなことを大切にしなければならないのだろう。 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用 等	◆ ベビーカー論争の解決を様々な視点から捉え、社会生活における公德心の大切さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ それぞれの意見の見方や考え方に触れて、誰もが住みよい社会をつくることの難しさを理解しながら、公德心の大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	運命の木 ― 姫路城の大柱 ― 姫路城の大柱に込められた人々の思いを共感的に理解することを通して、先人の残した伝統文化の大切さに気づき、我が国の優れた文化の継承と文化の創造に貢献しようとする道徳的実践意欲を培う。	・「運命の木」に込められたみんなの思いとは、どのようなものだったのだろう。 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用 等	◆ 姫路城の大柱に込められた人々の思いを様々な視点から捉え考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 姫路城を守ろうとする人々の思いを自分自身に置き換えて想像し、自分の考えを振り返って、伝統文化の大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	高砂丸とボトマック川のこと 他者の命を救おうとして亡くなったアーランドとクヌッセンの行為を伝えようとする人々の思いについて考えることを通して、生命の尊さを理解し、自他のかけがえのない生命を尊重する道徳的態度を養う。	・ボトマック川の橋に「ウィリアムズ橋」と名付けた日、日高町にクヌッセンの供養塔を建てたりすることで、人々は何を伝えていきたいと思ったのだろう。 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用 等	◆ アーランドとクヌッセンの行為を伝えようとする人々の思いを様々な視点から捉え考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ アーランドとクヌッセンの行為を伝えようとする人々の思いを自分自身に置き換えて想像し、自他の生命を尊重することについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	千年先のふるさとへ 「いのちの石碑」に込められた女川中学校の生徒たちの郷土に対する思いについて考えることを通して、郷土を愛し、主体的にその発展に努めようとする道徳的実践意欲を培う。	・「いのちの石碑」には、生徒たちのどのような思いが込められているのだろう。 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用 等	◆ 「いのちの石碑」に込められた女川中学校の生徒たちの思いを様々な視点から捉え考えている様子が、授業中の交流からうかがえる。 ◆ 自分と郷土との関わりを見つめて、地域社会の成員として主体的に郷土の発展に努めていくことについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	招集通知 ― あなたが裁判員になるとき ― みんなの話を聞いた恵美が気付いたことについて考えることを通して、主体的に社会と関わることの大切さに気づき、社会参画の意識と社会連帯の自覚を深め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。	・迷っていた恵美が「私、決めた」と言えたのは、どのようなことに気付いたからだろう。 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用 等	◆ 裁判員への招集に迷っていた恵美の気付いたことを様々な視点から捉え、主体的に社会と関わることの大切さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 恵美の考えを共感的に理解し、主体的に社会と関わることの難しさも理解しながら、社会参画について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	ショーペンハウアーとニーチェ ショーペンハウアーとニーチェのエピソードを手がかりに、「自分で考えること」の大切さについて考えることを通して、主体的に真理や真実を求め続けていこうとする道徳的態度を養う。	・どうして「自分で考えること」が大切なのだろう。これまでの道徳科の時間を振り返って考えてみよう。 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用 等	◆ ニーチェの生き方から「自分で考えること」を様々な視点から捉え考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 道徳科の学習を振り返りながら、主体的に真理を探究することの大切さについて、自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
	二度とない人生だから 「二度とない人生だから」の詩に込められた思いを受け止め、自己の生き方を見つめる学習を通して、自己の良心に従い、気高く生きることによって、よりよい人生を切り拓いていく道徳的実践意欲を培う。	・「二度とない人生だから」という言葉から、作者のどのような思いを感じますか。 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用 等	◆ 詩に込められた思いを様々な視点から捉え、自己の良心に従って、よりよい人生を切り拓いていくことについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ◆ 自分の思いを振り返りながら、自己の良心に従って、よりよい人生を切り拓いていくことについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				1
						合計	
							39

小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：総合的な学習の時間 科目：小石川フィロソフィーⅢ 単位数：1 単位

対象学年組：第3 学年 A組～D組

使用教科書：なし

総合的な学習の時間の目標：

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】国際的な視点で実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、根拠を明らかにしてまとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に国際社会に参画しようとする態度を養う。

小石川フィロソフィーⅢの目標：

実社会や実生活の中の様々な事象に関わり、探究的な学習の過程を通して課題を解決するために必要な資質・能力である「課題発見力」「継続的实践力」「創造的思考力」を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究的な学習の過程を通して、課題を発見し、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるようにする。	実社会や実生活の中の様々な事象を、多角的、複合的に捉え、課題を解決するための基本的な力を養うとともに、創造的な力を高める。	探究的な学習の過程を通して、様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 探究活動の意義と課題の発見 【知識及び技能】 探究の意義を理解しようとするとともに、課題の発見に関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 課題を設定するための基礎的な力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 探究的な学習の過程を通して、様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。	・指導事項 全体ガイダンス 課題研究活動（課題発見） ・教材 小石川ノート	【知識・技能】 探究の意義について理解している。 【思考・判断・表現】 課題を設定するための基礎的な力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとしている。	○	○	○	14
2 学 期	B 課題研究 【知識及び技能】 探究の過程を理解しようとするとともに、事象を分析するための基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 課題を設定するための基礎的な力を養う。	・指導事項 課題研究活動（課題発見） ・教材 小石川ノート	【知識・技能】 探究の過程について理解し、事象を分析するための基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 課題を多角的、複合的に捉え、課題を解決するための基本的な力を身に付け	○	○	○	15

	【学びに向かう力、人間性等】 探究的な学習の過程を通して、様々な事象や課題に知的的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。		【主体的に学習に取り組む態度】 様々な事象や課題に知的的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとしている。					
3 学期	C 探究活動のまとめと発表 探究した結果をまとめ、発表するための基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 探究した結果をまとめ、適切に表現するための基礎的な力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 探究的な学習の過程を通して、様々な事象や課題に知的的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。	・指導事項 全体ガイダンス 課題研究活動（課題発見） ・教材 小石川ノート	【知識・技能】 探究した結果をまとめ、発表するための基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 探究した結果をまとめ、適切に表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な事象や課題に知的的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとしている。	○	○	○	10	
								合計
								39